



# れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112(代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> / 発行日 2015年6月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします



## 大腿骨近位部骨折治療における 当院の多職種連携の取り組み

整形外科医長 重本 顕史

急速な高齢化社会を迎えたわが国では、骨粗鬆症を基盤とする骨脆弱性骨折が増加の一途をたどっています。現在の骨折治療の大部分が高齢者骨折であり、大腿骨近位部骨折においては、患者年齢層は80歳、90歳代が中心となり、治療は骨折を固定するだけでなく、既存疾患を含めた周術期治療が必要となっています。特に本骨折に対しては早期手術が合併症軽減など様々な面で有用であり、これらを可能にするには関係する多職種の緊密な連携が不可欠です。また骨折の治療後も、骨粗鬆症治療を含めた二次骨折予防が非常に重要となります。現在当院では本骨折に対して年間約150件の手術を行っており、国内では年間約18万件、2030年には年間30万件を超えるといわれています。

この現状に対し、当院では2013年より多職種が連携した大腿骨近位部骨折患者に対する取り組みを開始し、2014年より、整形外科医、内科医、麻酔科医、精神科医、産婦人科医、泌尿器科医、そして看護師（救急、外来、病棟、手術部）、理学療法士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、放射線技師、ソーシャルワーカー、医事課職員など入院治療にかかわる全ての部門が連携し、骨折を有する高齢患者として病院全体で治療する体系を構築し取り組んでいます。実際には安全かつ円滑な早期手術にむけた初療時の内科医による全例診察を導入、また周術期においては精神科医と連携した術後せん妄に対する評価・予防、二次骨折予防として薬剤師・栄養士・病棟看護師による骨粗鬆症治療の指導・サポートを行うなど多職種が連携した集学的な治療体制を構築しました。現在国内では入院から手術までの期間は平均4.6日ですが、当院では2014年は平均1.3日と約7割の患者さんが入院翌日までに手術を行っています。

このような骨脆弱性骨折に対する取り組みは海外ではすでに行われ、良好な成果が多数報告されており、今後その重要性は国内でも認識されていくものと考えています。

本治療においては急性期病院のみならず、回復期、維持期など、連携先の各医療機関の協力が不可欠であり、二次骨折予防である骨粗鬆症治療の継続を含め、今後ともよろしくご協力申し上げます。

## Contents

大腿骨近位部骨折治療における 当院の多職種連携の取り組み	1
6月の地域連携・開放型病床症例検討会報告	2
研修・講演・勉強会のご案内	3
経営管理課の紹介	4
医師不在のお知らせ	4
編集後記	4

# 研修・講演・勉強会のご案内

7月分

## 1. 地域連携・開放型病床症例検討会

日時：7月14日（火）19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

1) ミニレクチャー：「腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術」 呼吸器・血管外科 関 功二

腹部大動脈瘤は死亡率の高い疾患で唯一の治療方法は手術であり、腹部を大きく切開して動脈瘤を人工血管で置換する人工血管置換術が一般的に行われてきましたが、手術侵襲が大きくなってしまいうことが問題でした。

他方、最近登場した腹部ステントグラフト内挿術は、両足の付け根の大腿動脈から大動脈瘤にステントグラフト（パネ付きの人工血管）を挿入し、動脈瘤部分でこのステントグラフトを開放して留置

する血管内治療です。

全身麻酔または腰椎麻酔は必要ですが、患者様の負担が少なく済み、高齢者の方や各種基礎疾患をお持ちの方等、人工血管置換術では危険性が高いと考えられる方に対しても安全に施行が可能です。

この度、当院は「日本ステントグラフト実施基準管理委員会」の腹部ステントグラフト実施基準を満たし、5月から治療を開始しております。

2) 症例検討（2例）

① 『FFR（生理的狭窄評価検査）が診断に有用であった狭心症の1例』

紹介医：こばやしクリニック 小林 弘信先生 循環器内科 清川 裕明

② 『多発子宮筋腫に対する妊孕性温存治療の1例』

紹介医：吉本レディースクリニック 吉本 裕子先生 産婦人科 吉越 信一

※8月は、開催がありません。

予告

日時：9月8日（火）19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

① ミニレクチャー：『未定』

（担当）脳神経外科

② 症例検討 耳鼻いんこう科・歯科口腔外科の2例を予定しています。

## 2. 内科CPC

日時：7月28日（火）17：30～

場所：医局カンファレンス室

## 3. 緩和医療委員会 学習会

日時：7月7日（火）17：45～19：15

場所：地域医療研修センター

○テーマ「テレビ会議システムを利用したがん看護事例検討」

## 4. 富山地域リハビリテーション研修会

日時：7月9日（木）17：30～19：00

場所：講堂

○テーマ「在宅人工呼吸療法装置および関連補助装置の種類と特徴（講義と実技）」

○講師 臨床工学技師 熊代 佳景

## 5. 糖尿病研究会定例学習会

日時：7月9日（木）17：45～18：30

場所：集団指導室

○テーマ「糖尿病腎症（腎症Ⅱ期からⅢ期の病態について）」

○講師 腎臓内科医師 大田 聡

## 6. 医療機器研修会

日時：7月10日（金）17：45～18：15

場所：集団指導室

○テーマ「在宅呼吸療法って病院と何が違うの？」

○講師 臨床工学技士 山崎 圭梨

## 7. 感染予防対策学習会

日時：7月3日（金）12：15～12：50

17：30～18：05

7月7日（火）12：15～12：50

15：00～15：35

7月29日（水）12：15～12：50

17：30～18：05

場所：講堂

○テーマ「手指衛生 part2」

○講師 感染管理認定看護師 平野 規久

## 8. 褥瘡対策学習会

日時：7月24日（金）17：45～

場所：集団指導室

○テーマ「病院における褥瘡のマネジメント」

○講師 皮膚排泄ケア認定看護師 関口 聡子

## 9. NST学習会

日時：7月27日（月）18：00～19：00

場所：講堂

○テーマ「経腸栄養剤・栄養補助食品の種類と選択 経口訓練食（段階的）」

○講師 管理栄養士 小林 寛子

## 10. 乳腺術後症例検討会

※乳腺術後検討会を再開いたします。乳腺エコーに携わる検査技師・放射線技師、乳腺外科医師、病理医師、放射線科医師、院外参加希望の方のご参加お待ちしております。

日時：7月9日（木）16：00～17：00

場所：2階 病理検査室

○内容 前々月の手術症例の病理組織結果、エコー所見、マンモグラフィ所見の比較検討

※日時が変更になる場合がありますので、参加希望の方は事前に病理検査室へご連絡ください。

## 11. 看護研修

《現任研修》※すべて場所は講堂です。

日時：7月1日（水）13：30～15：40

○テーマ：ケースマネジメント、マネジメント

日時：7月21日（火）13：30～15：40

○テーマ：リーダーシップ、コミュニケーション

日時：7月24日（金）13：00～15：00

○テーマ：教育原理・方法

日時：7月27日（月）13：30～16：00

○テーマ：教育評価

《衛星研修 S-QUE E ナース》

日時：7月1日（水）17：40～18：40

場所：集団指導室

○テーマ「看護師が行う早期離床のためのリハビリテーション技術」

日時：7月15日（水）17：40～18：40

場所：集団指導室

○テーマ「ストーリーケアに必要な知識とスキル」

《衛星研修 S-QUE 特別企画》

日時：7月24日（金）17：00～18：30

場所：講堂

○テーマ「病院環境フォーラム15 病院機能評価2015」

当院の事務局の特色やスタッフを紹介いたします。

## 経営管理課の紹介

経営管理課は、管理係、管財係、出納決算係、経営企画係の4つの係で構成される組織で、課長以下総勢23名の職員が、医師や看護師など、病院内のほとんどの部署と関わりを持つ幅広い業務を行っています。

主な業務の内容は、①人事・給与・福利厚生に関すること②施設の維持管理に関すること③医療機器や備品の購入・管理に関すること④経理・決算に関すること⑤病院経営の分析や予算編成に関することなどを行っており、医師をはじめとする医療スタッ



フ全員がより質の高い医療サービスを提供できるよう、職員一同、病院を支えていく気持ちで業務を行っております。

また、医療を通して皆様の健康を守り、豊かな地域づくりに貢献するという富山市民病院の使命のもと、これからも、信頼される病院であり続けるよう、職員一丸となって、病院運営に貢献していきたいと思っております。

## 医師不在のお知らせ ※外来担当日の休診のみ掲載

7月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名	
内科	30日	清川	外科・消化器外科・乳腺外科	27日～31日	北川	
	16日、17日	石浦		1日～3日	福島	
	28日	蓑内		2日、7日	吉川	
	30日	打越		15日～17日、22日	八木	
	1日、28日	清水	呼吸器血管外科	9日、10日	瀬川	
	24日	水野		2日、3日	関	
	7日	町谷	整形外科・関節再建外科	3日、10日、24日、31日	澤口	
	27日～29日	芝		30日、31日	坂越	
	13日	山内		30日	五嶋	
	精神科	22日	向井		22日～27日	重本
		22日	小川	形成外科	3日、24日	置塩
外科・消化器外科・乳腺外科	10日	長谷川	産婦人科	21日	齋藤	
	27日～31日	伊東		28日	山田	
	2日、16日	泉	眼科	3日	藤井	
	14日～16日	藤村				

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

## 編集後記

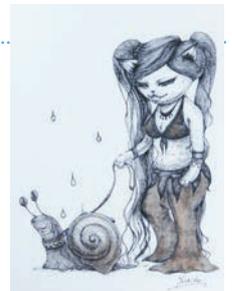
桜満開の4月に保健所から地域連携室へ異動となり、はや2か月半が経ち、気付けば梅雨に入り、色とりどりの紫陽花が見られるようになっていました。

梅雨のせいか、曇りや雨の日が増え、私は「洗濯物が乾かない」や「服が濡れる」と負のイメージしか持っていませんでしたが、保育所に行く息子が「今日長靴履いて行っている？」や「やったー！傘使える」という雨をも楽しむ姿をみて、はっとさせられました。

自分が持っているイメージが負であっても、他からみたイメージが負でないこともあり、色んな角度でものを捉えることで負も楽しめると思います。

今度、雨が降ったら息子と一緒に長靴と傘で歩いてみようと思います。

ふれあい地域医療センター 江本 かおり



病院ボランティア  
篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154  
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp